

まごころ尾張

二ともに生きる暮らしをめざして二
 尾張地域福祉を考える会
 まごころサービス尾張センター

第九回住民参加型在宅福祉サービス全国研修セミナー開催 (平成7年3月23日～24日 主催：全国社会福祉協議会)

ボランティア・NPO (非営利民間団体) への 支援策の検討について

今回の研修セミナーは、この数年、各市町村を主体とした各種の在宅福祉サービスの拡大・多様化という状況変化の中で、住民参加型在宅福祉サービス団体が果たす役割と意味、今後の展開についてその可能性を探るというものでした。全国各地から300人の関係者が集まり基調報告、パネルディスカッション、分科会等熱心な協議が行われました。

主な内容

- ◆国民のボランティア活動に対する意識変化は単なるブームではなく確実なものであり、参加希望者が実際に活動できるような支援が必要であり、ボランティア・NPO (当センターのような非営利民間組織) への支援策の検討が政府、政党、全社協ですすめられている、という心強い報告。
- ◆また、この活動が、自由な時に自由な事をの時代から、望む時に望む事の変化をしっかりと自覚していくこと。手助けのみで終わるのではなく、活動を通して何かを提言していくことを忘れてはならない、など指導。
- ◆住民参加型在宅福祉サービスの意義、役割、可能性について、固有性を要求される時期にあり、何をするか、何をして来たか、何をこれからするのか、の確認が是非とも必要なこと、等ディスカッション。
- ◆安定的な運営基盤について、ワーカーズコレクティブという多くの事業を抱えての財政基盤作りや、会の特性を目指した給食サービスや輸送サービスへの展開、担い手確保の模索等各分科会でも活発に内容が協議された。

当センターから3名参加しました

2月活動状況

活動件数	10件
活動人数	13人
活動時間	167時間

2月会員登録状況

協力会員	47人
利用会員	26人
賛助会員	106人
計	179人

三月十八日 岩倉女性フォーラムに参加
 岩倉女性フォーラム結論
 高齢社会を自分自身のこととし、ヘルパー・保健婦・訪問看護婦・移動入浴車が道を歩き交うのを当たり前の風景にしよう

我が街「宮市」でも合言葉にした

次はパネルディスカッションからのアドバイス
 痴呆かなと思ったら早い相談を。
 痴呆を家族の恥じと思ひ、相談や診察が遅れるケースが多い。正しい知識を正確に把握し家族会等の交流で情報交換を。
 一番重い荷物をしょっているのは痴呆を持った本人。そのことに気付いてほしい。家族がその重みを少しとり除き、さらに重みをその周りの人がとり除いていこう。

医療の効果は、介護の部分がいかにどうかで決まる、
 と言っても過言ではない程重いもの。
 「してあげる」という視点では利用サービスの扉は開かない。
 「もたれ合う」福祉ではなく「支え合う」福祉を。

協力会員さんへ

4月の定例会は、総会(4月15日)がありますのでお休みします。
 2月と3月にケア活動をされた方は
 4月5日(水)午前10時～午後1時の間に
 印鑑と活動記録簿をご持参のうえ、事務所までお出掛けください。

老人精神保健関係機関 連絡会議にて会の説明

三月二十七日(月)一宮保健所保健予防課精神保健担当者及び保健婦一宮市保健センター保健婦・在宅介護支援センター及び市内病院のソーシャルワーカー等関係者の方々による「老人精神保健関係機関連絡会議」において、まごころサービス尾張センターの取り組みについてお話しをさせていただきました。
 最近、病院のソーシャルワーカーさんから、退院が近い方の在宅療養への支援についてお問い合わせをいただいております。
 会員相互の助け合の窓口を、ご理解いただけるとてもいい機会であったと感謝致しております。



第一回 総会案内

日時 平成七年四月十五日(土) 午後一時～三時三十分
 場所 一宮スポーツ文化センター 三階小ホール

第一日 総会
 第二日 総会
 第三日 総会

午後一時～二時 越智章仁ピアノ演奏
 午後二時二十分～三時三十分

☆皆さんの総会です。会員さんは必ずご出席下さい。
 ☆また、既にご案内致しておりますように、ふれあいコンサートには、多くの方のご参加をいただきます。ふれあいコンサートご近所のお年寄りの方やお友達などお誘い合わせのうえお出掛け下さい。お待ちしております。

ピアノ演奏者
 越智章仁さんのプロフィール

9才よりピアノを始める。平成7年3月愛知県立佐織養護学校高等部卒業。現在ハレルヤ生活園(ハンディをもつ人と、彼らを支援する人達の作業所)に通園しながら、コンサート活動を全国各地で開催。昨年秋に行われた身体障害者スポーツ大会「ゆめびっくあいち」のテーマ曲の一つ「ザ・ドリーム」を作曲。